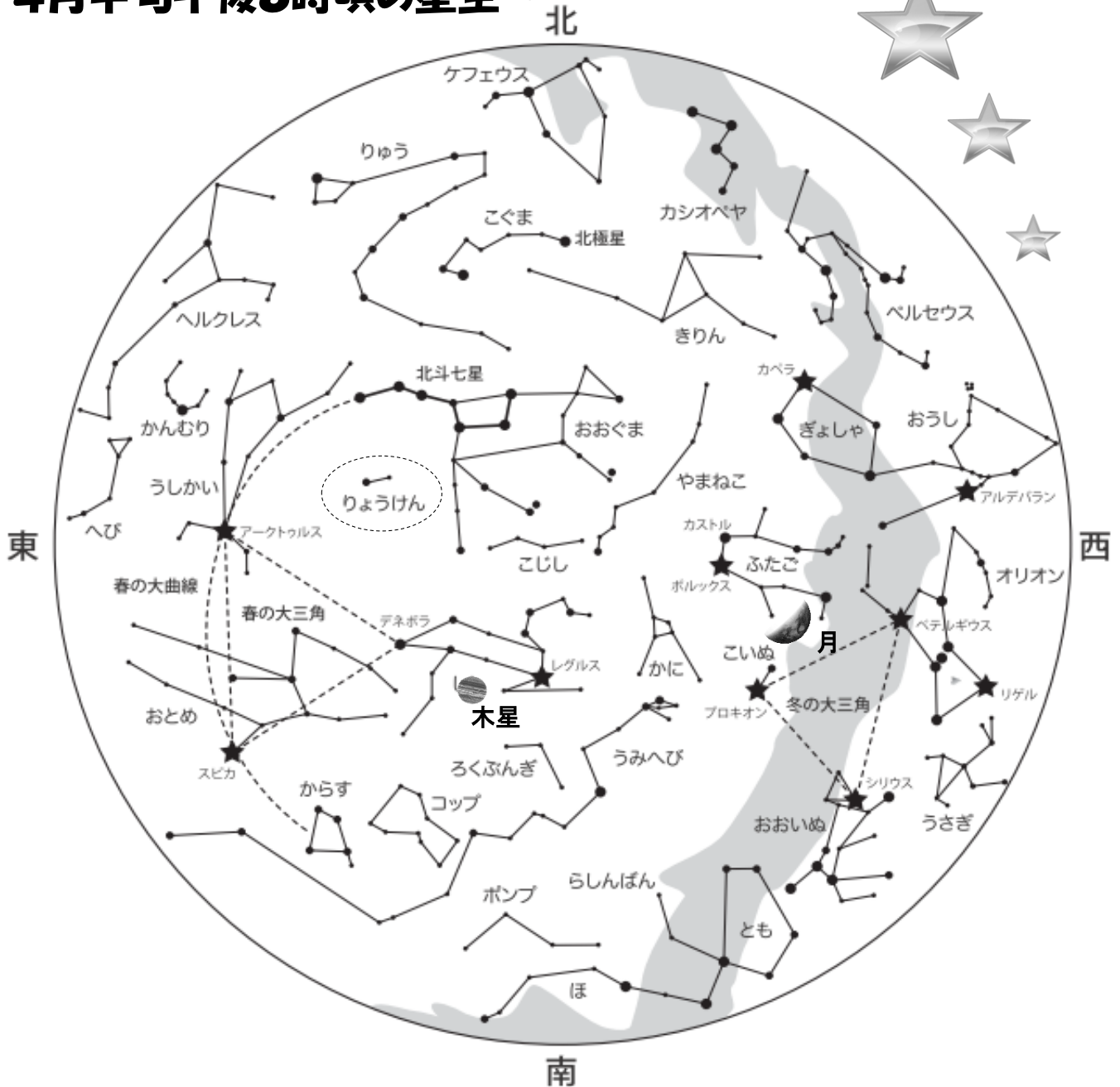


松江市立天文台～4月の天文教室～

平成28年 4月13日

4月中旬午後8時頃の星空～



桜も散り始めて、夜の寒さも和らいできました。4月は春がすみや黄砂のために星が見えにくいのが残念ですが、大気の流れは安定しているので、月や惑星を見るには適しています。天気の良い日は、北斗七星やしし座、おとめ座、うしかい座などを探してみましょう。今夜は、月や、木星、りょうけん座の球状星団メシエ3や、 α 星のコルカロリなどを観察します。

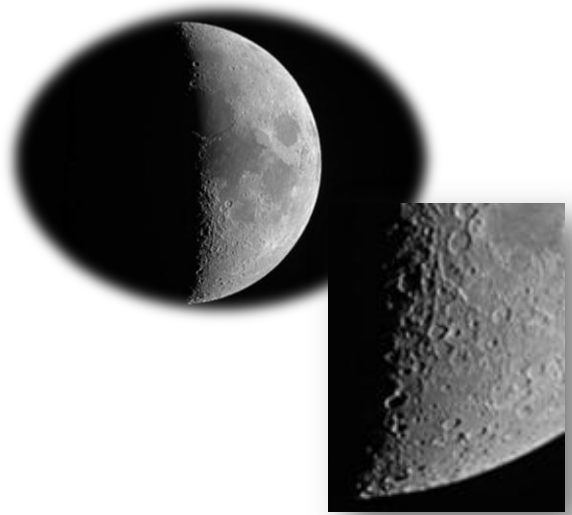
4月中旬午後8時頃の星空です。
月、木星の位置は4月13日現在のものです。
各天体の見かけの大きさは強調してあります。
この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

今夜の月

今夜の月は月齢6、明日は、ちょうど月の西半分が輝く姿となります。

これをわが国では古くから、「上弦の月」と呼んでいます。

月を天体望遠鏡で見ると、海と呼ばれる黒く平らな地形と、山あるいは山脈と呼ばれる白っぽくクレーターが多くみられる地形が観察できます。



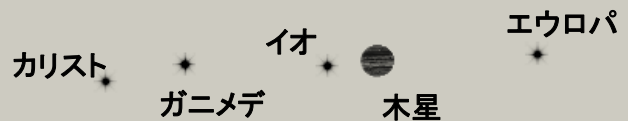
木星

木星は、太陽系最大の惑星で、その直径は地球の約11倍、質量は約318倍もあります。

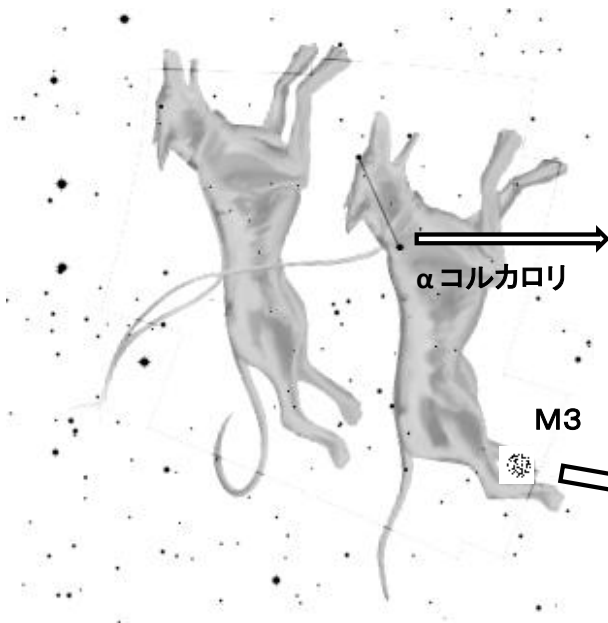
小型の天体望遠鏡でも表面のしま模様や、4大衛星(ガリレオ衛星)を観察できます。

4大衛星のひとつイオでは、火山活動が確認されるなど、今でも新しい発見が続いています。

4月13日の木星とガリレオ衛星



りょうけん座



りょうけん座は、北斗七星の南にある小さな星座で、大熊(おおぐま座)を追う男(うしかい座)が連れた2匹の犬として描かれています。

古代からの星座ではなく、17世紀のポーランドの天文学者ヘベリウスが創設した星座です。

りょうけん座の α 星は、コルカロリという名前があります。この星を天体望遠鏡で拡大すると、明るい星が黄色に、暗い星が紫色に見える、色の対比が美しい二重星です。



M(メシエ)3は、りょうけん座にある代表的な球状星団のひとつです。

空の暗い場所では、双眼鏡でも見つける事ができ、天体望遠鏡ではたくさんの星の集まりであることが分かります。

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 5月11日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会